

★ ひげをそる時や食べる時に、右目が閉じてみえなくなりますが。

2年前の右顔面神経麻痺が原因です。右目がやや細目ではありますが、ほぼ整っていました。しかし、「イ」「ウ」と唇を動かす時、日常生活で髭剃りで鼻の下を伸ばす時、食事で口を動かす時に右目が全く閉じてしまい困っておられました。右顔から首肩にかけて、はり灸で筋肉の緊張と神経の流れがよくなるように治療すると目が少しずつ開いてきました。

★ 脚立から落ちて腰をひねりましたが。

車に乗る時は右足を両手で支えないと運転席に乗れなかったそうです。治療のベッドで横になってもらう時は「痛っ、痛っ。」とやっそこさっここでした。上から落ちて腰をひねった場合、身体のゆがみと筋肉や靭帯の損傷を伴っているため、腰痛テストをしながら矯正や腱引きとはり灸をして傷の修理修繕を行います。帰りはスムーズに歩け足も手の支えなしで乗れたそうです。

★ 両まぶたが腫れて赤くありませんが。

特に、虫に刺されたとか、海風に当たったとかそういった原因のない時、治療室では、首肩の筋緊張をはり灸でゆるめ、お顔特にまぶたの血流がよくなるような施術をします。今回少しひどかったのも、まぶたの赤く腫れているところにも超極細ハリをいたしました。食事では、甘いもの・辛いものを控えてもらい野菜をたっぷり食べてもらいました。数回できれいになりました。

★ 階段を1段上がる時に、右ひざの後ろと前が痛くありませんが。

痛みを感じている場所は膝の前後でも、腰が原因の坐骨神経や太腿神経の圧迫でそのように感じる場合も多いです。こんな時は、痛い側の腰からおしりのはり灸を行います。治療後痛みをみてもらうと、膝の後ろの痛みは治りました。階段を上って痛いのは右ひざの内側に移動しました。痛みのところに温灸や皮内はりをするとうれになったので、明日続きの治療を行います。

★ 腰の痛みで夜眠れませんが。

置きはり治療と温灸20個の治療を行います。転倒・骨折を繰り返されているうちに現在杖歩行となっておられます。寝返りはできず1回1回起きあがって横になります。夜は痛みで寝れなくなっておられました。腰のラインを触ると、骨の間隔が狭くくっついた感じになり背骨の周りの筋肉は岩盤のように固くなっておられました。治療後は起きあがらずに寝返りができるようになりました。

★ 内膜症でホルモン剤を飲んでいますが。

子宮内膜症の方は、生理痛の強い人が多いです。何年もそんな状態で慢性的になっておられる方が多いと思います。そんな場合でも定期的なはり灸治療で、毎月の生理痛自体が楽になってきます。できるだけ、お薬に頼り続けしないで、根本からの施術をお勧めしたいです。内膜症は不妊症の原因にもなり、お薬も長く続けると副作用がでたりします。

★ 交通事故後1か月も経つのに、頭痛や吐き気が寝ててもとれません

思いがけず信号で止まっていた大きいトラックに40km/時速近くで追突しました。こんな時むち打ち症状の衝撃具合は、車がどうなったかでおおよそ判定します。車は廃車でした。頭痛や吐き気でぐったりされていましたが、置きバリ+電気施術を行い、ご自宅でできるだけ横になってもらったら段々治ってきました。むち打ちは、とにかくまず首が頭を支えられる程に傷を治さないといけません。